

# (1) 平成20年度・学校経営計画

### 建学の精神 ・ 綱領 ・ 校訓

- 建学の精神  
「正己以格物」  
人格、徳性の涵養並びに知性を錬磨し、社会の要請に応える。
- 綱領  
高く志を立て、広く知を求め、深く理を探り、正しく生きる。
- 校訓  
開拓  
心身の鍛錬を図ることにより、健全でたくましい実践力を養い未来を開拓する人間を育てる。  
創造  
豊かな知性と情操を養い、個性・能力を伸ばすとともに、文化遺産を継承し、時代にふさわしい文化を創造する人間を育てる。  
協力  
自ら努力を重ねるとともに、互いに人格を重んじ、他人と協力して社会の発展に貢献する人間を育てる。

### 目指す学校像（中・長期的展望）

県内随一の私立進学校としての矜持を保持し、存続への最大限の努力を続ける。

- (1) 節度ある学校生活の下、生徒一人ひとりの夢により添い、その実現にむけて、全教員が一丸となって真摯な努力を続ける。
- (2) 確かな学力と豊かな人間性をよりどころに、誠実で気概があり、品位のある人間を育てる。
- (3) 生徒一人ひとりの可能性をひき出し、自信と誇りをもって高校生活を送れるよう、様々な活躍の場への積極的な参加を促す。
- (4) 地元国公立大学並びに旧帝大クラス、著名私立大学へ毎年複数の合格者を出すとともに、40周年にむけて東大クラスへの合格者を出せるよう学校としての教育力と教師力の向上を図る。

### 平成20年度の学校目標

- (1) 確かな学力と豊かな人間性を養い、生徒一人ひとりの希望進路の実現のため、常に良質な教育を提供できるよう最大限の努力を続ける。
- (2) 生徒の可能性をひき出し、自信と誇りをもって学校生活が送れるよう育てる教育に邁進する。
- (3) 規律ある学校生活の下、生徒の安心と安全を保障できる教育環境の整備と維持に努める。

### 平成20年度の指導の重点

- (1) 学習指導の充実
  - ・ 学力の向上を第一に、授業方法を工夫し、内容の充実を図る。
  - ・ 各コースの目標や特性に応じて、学ぶ意欲をひき出し、自ら学び続ける力を育てる。
- (2) 生活指導の徹底
  - ・ 自律的行動のもとに、明るく節度ある学校生活の維持を図る。
  - ・ 品位のある服装・容儀を守り、礼節を弁えた生徒を育てる。
- (3) 進路指導の充実
  - ・ 生徒一人ひとりの能力や適性を的確に把握し、計画的・組織的な進路指導を実施する。
- (4) 特別活動の振興
  - ・ 学校生活にうらおいと喜びを見出し、人間力の向上を願って特別活動への積極的な参加を促す。
- (5) 研修の充実
  - ・ 教員相互の密接な連携の下、教師としての資質と指導力の向上に努め、その結果を生徒に還元する。

## 平成20年度の校務分掌の重点目標・具体的な取組

### 教務部

- 重点目標  
生徒の学習意欲を育てる環境づくりをすすめる。
- 具体的な取組
  - ・ 教員が自らの授業を振り返り、わかる授業づくりを進める研修会を年2回設定する。
  - ・ 生徒の学習・進路計画づくりを支援するために、シラバスを各クラスに配付する。
  - ・ 指導要領の改訂を視野に入れ、コースの特色を反映するカリキュラムづくりに着手する。
  - ・ 各分掌と連携しながら、生徒の参加意識・活動意欲を高める学校行事づくりをすすめる。

### 企画部

- 重点目標  
入学者250名（定員）の確保。
- 具体的な取組
  - ・ 二高の教育目標や各実績、教育システムをパンフレットや学校紹介ビデオを使って、中学校のみならず地域社会の信頼を得られるイメージを構築する。
  - ・ 生徒募集として充実した各種イベントの実施や新聞・テレビを使った広報活動をするとともに、ホームページの有効な活用を図る。
  - ・ 市内の他私学との比較で、その違いを明確に打ち出せる内容を確立し、説明会資料の充実を図る。

### 管理部

- 重点目標  
安全な施設の提供と安心して学べる環境の整備をすすめる。
- 具体的な取組
  - ・ 施設・設備の日常点検・整備改修を行う。

### 生徒指導部

- 重点目標  
生活指導 — 挨拶の励行、遅刻・欠席の減少、容儀の徹底、事故・非行の防止。
- 具体的な取組
  - ・ 朝、昇降口で挨拶や服装指導にあたる。
  - ・ 生徒会活動の中に、挨拶、遅刻・早退、容儀、事故・非行の問題を取り上げ、対策に取り組む。
- 重点目標  
特別活動の充実 — 生徒会活動、部活動。
- 具体的な取組
  - ・ 生徒会執行部が中心となり、学校行事を成功させるよう、リーダーとしての企画力や行動力を養わせる。
  - ・ 安全で活発な部活動が行われるよう、定期的に顧問会議を開く。
  - ・ 学年と協力して部活動の加入率を高める。

### 進路指導部

- 重点目標  
生徒一人一人の能力と適性の把握に努め、進路に関する的確な情報を提供し、希望進路の達成に努める。
- 具体的な取組
  - ・ 進路ガイダンス（講演会）の実施や進路だよりの配付、進路センターでの相談を通じて情報の提供に努める。

### 保健部

- 重点目標  
進路目標達成を支える健康な身体づくりを支援する。
- 具体的な取組
  - ・ 諸検査・測定を実施し、全体的な傾向を把握する他、要治療者の治療率を上げる。
  - ・ 健康相談を随時保健室で行い、学年・担任と連携して対応する。
  - ・ 健康維持・増進に関する情報を『保健ニュース』で提供する。
  - ・ 学校保健委員会を開き、担当医との情報交換をする。

### 渉外部

- 重点目標  
PTA委員・会員の総会・委員会・研修会等の出席率の向上。
- 具体的な取組
  - ・ 各種会合の出席者に、次の会合のPRを積極的に行う。
  - ・ 各種会合の案内文書を早めに発送する。

(2) 平成20年度・学校評価アンケート（生徒対象）の集計結果

評価項目	4	3	2	1	0	
						よくあてはまる そう思う
学習	A コースの特色に応じた授業や行事が行われ、積極的に勉強できる環境が整えられていると思いますか。	25.7%	51.0%	16.1%	2.1%	5.1%
	B 先生は個別の学習指導（添削・質問への対応・二者面談など）をしてくれていると思いますか。	33.1%	41.0%	16.8%	4.2%	4.9%
	C NSP（土曜出校日）の小論文講座・コース行事は、将来、役に立つ内容だと思いますか。	17.0%	33.7%	25.2%	15.0%	9.1%
	D 二高は、生徒の心身に関する相談体制（カウンセリングなど）が、整備されていると思いますか。	24.5%	38.7%	17.4%	3.4%	16.0%
生活	E 二高生は明るく学校生活を送っていると思いますか。	32.3%	46.9%	12.0%	3.4%	5.4%
	F 二高生は、服装・髪型がきちんとしており、あいさつが身についていると思いますか。	9.9%	40.0%	33.2%	10.2%	6.7%
	G 先生は生活指導（服装指導・あいさつ・問題行動への対応など）がきちんとしてくれていますか。	27.0%	49.4%	14.8%	4.1%	4.8%
	H 二高では、運動部および文化部の活動が、積極的に行われていると思いますか。	28.0%	39.7%	16.7%	10.3%	5.2%
進路指導	I 球技大会・文化祭・体育祭などの学校行事に、積極的に参加していますか。	46.8%	33.2%	13.0%	5.1%	2.0%
	J 二高では、生徒の一人一人のことをきちんと把握し、適切な進路指導が行われていると思いますか。	19.0%	42.9%	20.5%	7.6%	9.9%
その他	K 進路講演会・進路便り・進路センターなどで、進路に関する情報を十分に知ることができましたか。	17.7%	38.8%	22.1%	7.8%	13.6%
	L 二高の生徒募集用パンフレットや学校説明会で、二高の特色がわかりましたか。	16.7%	41.5%	22.1%	6.4%	13.3%
	M 二高の目標・進学実績・教育内容は、市内の他の私立高校とはっきりとした違いがあると思いますか。	22.4%	33.6%	16.7%	6.7%	20.7%
	N 二高は、校舎内外の清掃や補修活動など、学校の環境整備に積極的に取り組んでいると思いますか。	16.1%	43.7%	22.9%	5.9%	11.3%
	O 二高は、あなたにとって誇りの持てる学校ですか。	26.0%	43.3%	14.2%	7.2%	9.4%

(3) 平成20年度・学校評価アンケート（保護者対象）の集計結果

評価項目	4	3	2	1	0	
						よくあてはまる そう思う
学習	A コースの特色に応じた授業や行事が行われ、積極的に勉強できる環境が整えられていると思いますか。	28.3%	59.3%	5.5%	1.0%	5.9%
	B 教員は個別の学習指導（添削・質問への対応・二者面談など）を適切に行っていると思いますか。	22.4%	50.0%	11.7%	1.3%	14.6%
	C NSP（土曜出校日）の小論文講座・授業・コース独自の活動は、生徒にとって有益だと思いますか。	48.5%	37.9%	6.5%	1.6%	5.5%
	D 教員は授業方法を工夫し、生徒がわかるための授業を行っていると思いますか。	14.7%	51.0%	10.1%	3.9%	20.3%
生活	E 生徒は明るく学校生活を送っていると思いますか。	38.4%	51.3%	6.5%	1.3%	2.6%
	F 生徒の服装・髪型がきちんとしており、挨拶が身についていると思いますか。	13.5%	57.4%	19.4%	4.5%	5.2%
	G 教員による生活指導（服装指導・挨拶・問題行動への対応など）がきちんとして行われていると思いますか。	20.5%	57.0%	6.2%	3.6%	12.7%
	H 運動部および文化部の活動が、積極的に行われていると思いますか。	21.0%	46.6%	18.8%	5.2%	8.4%
進路指導	I 生徒の能力や適正をきちんと把握し、計画的・組織的な進路指導が行われていると思いますか。	15.9%	46.3%	13.9%	2.6%	21.4%
	J 進路講演会・学年保護者懇談会・進路便りによる進路情報の提供が、十分に行われていると思いますか。	20.2%	55.4%	10.4%	2.3%	11.7%
その他	K 講演会・学年保護者懇談会・母親研修会・公開授業日などに、都合が良ければ参加したいと思いますか。	31.9%	46.5%	15.2%	4.5%	1.9%
	L PTAの各種集会について、PR活動や案内文の配布時期は適切だと思いますか。	27.0%	57.0%	8.5%	1.0%	6.5%
	M 本校の目標・進学実績・教育内容は、市内の他の私立高校とはっきりとした違いがあると思いますか。	30.2%	40.9%	8.8%	0.6%	19.5%
	N 校舎内外の清掃や補修活動など、学校の環境整備に積極的に取り組んでいると思いますか。	25.1%	54.1%	5.9%	1.3%	13.7%
	O 本校の教育内容（授業・進路指導・生活指導）は、総合的に満足できるものですか。	23.4%	52.6%	9.7%	2.6%	11.7%

(4) 平成20年度・自己評価の中間報告

学校経営計画の取組についての評価

取組度の段階評価	4	きちんと取り組んでいる
	3	ほぼ取り組んでいる
	2	あまり取り組んでいない
	1	全く取り組んでいない

担当部署	重点目標	今年度の分掌目標 (今年度の指導の重点達成のため、分掌で掲げた目標)	今年度の具体的取組 (今年度の分掌目標達成のため、具体的に取組むべきもの)	取組度	取組の良い点・悪い点
教務	●	生徒の学習意欲を育てる環境づくりをすすめる。	教員が自らの授業を振り返り、わかる授業づくりを進めるための研修会を年2回設定する。	2	外部講師を招いての職員研修、年2回の授業公開日などの計画・実施が中心となり、「わかる授業づくり」の研修会は、計画段階から進んでいない。
			生徒の学習・進路計画づくりを支援するために、シラバスを各クラスに配布する。	4	全学年・全科目のシラバスの作成は既に終了し、印刷して各クラスに配付した。
			指導要領の改訂を視察し入れ、コースの特色を反映するカリキュラムづくりに着手する。	2	現行のカリキュラムについて、その問題点のとりまとめに着手している。今後は、新指導要領の勉強会と平行し、具体的なカリキュラムづくりを進めたい。
			各分掌と連携しながら、生徒の参加意識・活動意欲を高める学校行事づくりをすすめる。	3	各分掌と連携し年間行事予定を作成している。今後は、3学期別への移行に備え、各分掌と連携して学校行事の再編成を進めたい。
企画	●	入学者250名(定員)の確保。	二高の教育目標・実績・教育システムを、パンフレットや学校紹介ビデオを使って伝え、中学校のみならず地域社会の信頼を得られるイメージを構築する。	3	ここ数年、ビデオやパンフレットの内容は大幅な改訂を行っていないが、二高についての基本的イメージは定着していると考えられる。ただ、一番の宣伝媒体である生徒の容儀・行動については一層の改善が必要である。
			生徒募集として、充実した各種イベントの実施や新聞・テレビを使った広報活動をするともに、ホームページの有効な活用を図る。	3	年間を通して取り組むべきイベントや広告は、ほぼ確定してきている。また、実施時期も中学校の予定を考えた上での設定である。ただし、ホームページについては改善の余地があり、今後、予算措置も含めた検討が必要である。
			市内の他私学との比較で、その違いを明確に打ち出せる内容を確立し、説明会資料の充実を図る。	2	昨年度から地区説明会資料には含めているが、内部での周知徹底が行われておらず、今年度はこれからの説明会前に資料の内部説明会を実施する予定である。
管理	●	安全な施設の提供と安心して学べる環境の整備を進める。	施設・設備の日常点検・整備改修を行う。	4	7月末の地震の被害状況は確認したが、9月中旬に改修予定である。
生徒指導	●	生活指導 — 挨拶の励行、遅刻・欠席の減少、容儀の徹底、事故・非行の防止。	朝、昇降口で挨拶や服装指導にあたる。	4	各学年の教員が毎朝熱心に指導にあたり、元気な挨拶が響いている。制服の着こなしは満足のゆくものではないが、その場で直すように指導している。
			生徒会活動の中に、挨拶、遅刻・早退、容儀、事故・非行の問題を取り上げ、対策に取り組む。	1	行事の企画や実施に追われ、今年度は、この時点まで取り組む余裕がなかった。しかし、後期の生徒会では実施する予定である。
	●	特別活動の充実 — 生徒会活動、部活動。	生徒会執行部が中心となり、学校行事を成功させるよう、リーダーとしての企画力や行動力を養わせる。	3	前執行部の経験者がほとんどいない。現執行部の出だしではあったが、各々ががんばりをみせ、例年と同じ程度までに近づけた仕事ぶりであったと思う。
			安全で活発な部活動が行われるよう、定期的に顧問会議を開く。	2	何度か会議を行ったが、定期的には開くことができなかった。しかし、日頃から「安全な活動」には心掛けていたと思う。
			学年と協力して部活動の加入率を高める。	3	部活動への加入率は、決して満足のいく状態ではないが、本校の交通事情などを考えると、低い加入率であるとは思わない。
進路指導	●	生徒一人一人の能力と適正の把握に努め、進路に関する確かな情報を提供し、希望進路の達成に努める。	進路ガイダンス(講演会)の実施や進路だよりの配付、進路センターでの相談を通じて情報の提供に努める。	3	新規の教員向け、生徒向け模範レクチャー(スタディサポート)、保護者向け講演会(公開授業時)を実施。後期にも計4回(模範レクチャー生徒向け2回、保護者向け2回)予定されているが、生徒への進路便りの発行が滞りしており、この点において目標の達成まで到達していない。
保健	●	進路目標達成を支える健康な身体づくりを支援する。	諸検査・測定を実施し、全体的な傾向を把握する他、要治療者の治療率を上げる。	3	治療の通知を出すという形で呼びかけてはいるが、治療率を上げるためのより具体的な取り組みは、充分であると言えない。
			健康相談を随時保健室で行い、学年・担任と連携して対応する。	4	学年と担任と連絡を取り合い、個々の状況に応じて対処した。
			健康維持・増進に関する情報提供を『保健ニュース』で提供する。	4	保健室前の廊下に掲示して、情報提供している。
			学校保健委員会を開き、担当医との情報交換をする。	4	担当医の先生方と情報交換をし、適切なアドバイスを頂き、今後の指導に活かせるものとなった。
渉外	●	PTA委員・会員の総会・委員会・研修会等の出席率の向上。	各種会合の出席者に、次の会合のPRを積極的に行う。	3	口頭では案内しているが、日時等が確定していないと詳しいことは言えないので、「～がある」という表現で終わっている。
			各種会合の案内文書を早めに送付する。	3	早めに送付はしているが、下宿生の手元に届かない場面があった。通学生についても、確実に親元に届いているか確認する手段がないのが現状である。

(5) 平成20年度・自己評価の最終報告

学校経営計画の達成についての評価

達成度の段階評価	4	きちんと達成できた
	3	ほぼ達成できた
	2	あまり達成できなかった
	1	全く達成できなかった

今年度の指導の重点 (今年度の学校目標達成のため、今年度、重点的に取り組むべきもの)		達成度	次年度に - 継続していきたい成果・改善すべき課題
(1) 学習指導の充実	学力の向上を第一に、授業方法を工夫し、内容の充実を図る。	3	授業公開を実施し、授業方法についての勉強会などの工夫がさらになされてきた。次年度は、教員の研究意欲を高める取組を企画したい。
	各コースの目標や特性に応じて、学ぶ意欲をひき出し、自ら学び続ける力を育てる。	3	校外での学習プログラムが増加し、生徒の興味・関心を引き出す機会が増えている。どのコースにおいても、より特色ある教育活動の実施を目指してきた。
(2) 生活指導の徹底	自律的行動のもとに、明るく節度ある学校生活の維持を図る。	4	教員は「親身な指導」を心掛けており、生徒の多くは「学校が楽しい」と思っている。生徒の気持ちを反映しているためか、事故非行の発生件数は少ない。
	品位のある服装・容儀を守り、礼節を弁えた生徒を育てる。	3	登校時や授業時の挨拶・服装に対しての「教員による声かけ」は定着している。制服の着こなしについては、しっかり身につけていない生徒も若干いる。今後も指導の定着を図りたい。
(3) 進路指導の充実	生徒一人ひとりの能力や適性を的確に把握し、計画的・組織的な進路指導を実施する。	3	全体への指導体制とともに、個々の生徒への組織的・計画的な指導体制の連携を図っていく。
(4) 特別活動の振興	学校生活にうらおいと喜びを見出し、人間力の向上を願って、特別活動への積極的な参加を促す。	3	生徒の自発的な特別活動を支える生徒会については、教員側による理解と支援体制がうまくなされていた。部活動については、更に顧問教員の部運営に関する情報交換や研修の場を設定したいと考えている。他の特別活動についても、常に情報提供が行われ、活動ができるような体制づくりを進めたい。
(5) 研修の充実	教員相互の密接な連携の下、教師としての資質と指導力の向上に努め、その結果を生徒に還元する。	3	学校運営に関する教員研修会、年2回の公開授業などを実現することで、校内研修の内容の向上・機会の増加が図られた。また、校外の研修についても強化された。しかし、その内容については、今後も研究していかなければならない。

担当	重点目標	今年度の分掌目標 (今年度の指導の重点達成のため、分掌で掲げた目標)	今年度の具体的取組 (今年度の分掌目標達成のため、具体的に取り組むべきもの)	達成度	次年度に - 継続していきたい成果・改善すべき課題
教務	●	生徒の学習意欲を育てる環境づくりをすすめる。	教員が自らの授業を振り返り、わかる授業づくりを進めるための研修会を年2回設定する。	2	次年度は、校外研修会の内容が報告で終わるのではなく、他の教員の参考となるように、授業公開形式を取り入れた実践的な校内研修会を実施したい。
			生徒の学習・進路計画づくりを支援するために、シラバスを各クラスに配布する。	4	次年度は、生徒に当該学年のシラバスを配付する。また、生徒が学習・進路計画を速やかにたてられるように、配付時期を今年度より早くする。
			指導要領の改訂を視野に入れ、コースの特色を反映するカリキュラムづくりに着手する。	2	次年度は、新指導要領についての勉強会を実施するとともに、コース委員と連携しながら「特色あるカリキュラムづくり」に着手する。
			各分掌と連携しながら、生徒の参加意識・活動意欲を高める学校行事づくりをすすめる。	3	3学期制・年間5回の考査日程となる年間行事予定について、生徒指導部と協力し「生徒の参加意識・活動意欲にどのような影響があるか」を検証したい。
企画	●	入学者250名(定員)の確保。	二高の教育目標・実績・教育システムを、パンフレットや学校紹介ビデオを使って伝え、中学校のみならず地域社会の信頼を得られるイメージを構築する。	3	過去3年間一貫した表現と内容でパンフレット・ビデオ等を作成し、二高についての基本的なイメージは定着していると考える。
			生徒募集として、充実した各種イベントの実施や新聞・テレビを使った広報活動をするとともに、ホームページの有効な活用を図る。	3	年間を通して取り組むべきイベントや広告は定着し、中学校の予定も考慮した設定である。ホームページは来年度改訂に向けて改善している最中である。
			市内の他私学との比較で、その違いを明確に打ち出せる内容を確立し、説明会資料の充実を図る。	3	対外的な説明会資料には他校との比較表を載せており、校内においても内容説明会を実施した。
管理	●	安全な施設の提供と安心して学べる環境の整備を進める。	施設・設備の日常点検・整備改修を行う。	3	日常、点検・整備をしているが、常に改修箇所が発生している。地震・降雪による被害把握や改修に時間を要した。非常時のマニュアルを検討し直したい。
生徒指導	●	生活指導 - 挨拶の励行、遅刻・欠席の減少、容儀の徹底、事故・非行の防止。	朝、昇降口で挨拶や服装指導にあたる。	3	各学年の教員が毎朝熱心に指導にあたり、元気な挨拶が響いている。制服の着こなしは満足のゆくものではないが、その場で直すように指導している。
			生徒会活動の中に、挨拶、遅刻・早退、容儀、事故・非行の問題を取り上げ、対策に取り組む。	1	行事の企画や実施に追われ、今年度は、この時点まで取り組む余裕がなかった。しかし、次年度の生徒会では計画・実施の予定である。
			生徒会執行部が中心となり、学校行事を成功させるよう、リーダーとしての企画力や行動力を養わせる。	3	前執行部の経験者がほとんどいない。現執行部の出だしであったが、各々ががんばりをみせて、例年と同じ程度までに近づけた仕事ぶりであったと思う。
●	特別活動の充実 - 生徒会活動、部活動。	安全で活発な部活動が行われるよう、定期的に顧問会議を開く。	2	何度か会議を行ったが、定期的には開くことができなかった。しかし、日頃から「安全な活動」には心掛けていたと思う。	
		学年と協力して部活動の加入率を高める。	3	部活動への加入率は、決して満足のいく状態ではないが、本校の交通事情などを考えると、低い加入率であるとは思わない。	

進路 指導	●	生徒一人一人の能力と適正の把握に努め、進路に関する確かな情報を提供し、希望進路の達成に努める。	進路ガイダンス（講演会）の実施や進路だよりの配付、進路センターでの相談を通じて情報の提供に努める。	3	今年度実施の10回の外部講師からのガイダンス・講演会（生徒・保護者・教員向けの合計）の内容の充実を図ると共に、それらの関連性やLHR、二（三）者面談などとの関連性を整備する。定期的な進路通信の発行を準備する。
保健	●	進路目標達成を支える健康な身体づくりを支援する。	諸検査・測定を実施し、全体的な傾向を把握する他、要治療者の治療率を上げる。	3	治療の通知を出すという形で呼びかけてはいるが、治療率を上げるためのより具体的な取り組みは、充分であると言えない。
			健康相談を随時保健室で行い、学年・担任と連携して対応する。	4	学年と担任と連絡を取り合い、個々の状況に応じて対処した。
			健康維持・増進に関する情報提供を『保健ニュース』で提供する。	4	保健室前の廊下に掲示して、情報提供している。
			学校保健委員会を開き、担当医との情報交換をする。	4	担当医の先生方と情報交換をし、適切なアドバイスを頂き、今後の指導に活かせるものとなった。
渉外	●	PTA委員・会員の総会・委員会・研修会等の出席率の向上。	各種会合の出席者に、次の会合のPRを積極的に行う。	3	出席者へのPRはできたが、出席者が固定化していたため、全体的な出席率向上には至らなかった。
			各種会合の案内文書を早めに送付する。	4	1ヶ月前には案内を送付したが、全体的な出席率向上には結びつかなかった。